

株式会社ヤクルト本社

第59期 **株主通信**

平成22年4月1日 ~ 平成23年3月31日

掲載内容

- 01 株主の皆さまへ／連結業績ハイライト
- 03 セグメント別業績概況
- 07 連結財務諸表等
- 09 特集「『安全・安心』で健康な生活をサポートする
ヤクルトの取り組み」
- 11 ヤクルトのネットワーク
- 13 商品紹介
- 19 コラム「ヤクルトのトレードマーク
プラスチック容器の立体商標登録」
「乳酸菌『L.カゼイ シロタ株』の継続飲用で
スポーツ選手の風邪を予防」
- 21 会社情報



To Our Shareholders

ごあいさつ



代表取締役会長（CEO）

堀 澄也

この度の東日本大震災により、被災された皆さまには心よりお見舞い申し上げます。

株主の皆さまには、ますますご清祥のこととご拝察申し上げます。

平成23年6月22日をもちまして、代表取締役会長に就任いたしました。

新経営体制のもと、根岸新社長とともに、二人三脚で助け合いながら走ってまいりますので、株主の皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げます。



代表取締役社長（COO）

根岸考成

この度の東日本大震災に際しまして、被災地域の1日も早い復興をお祈り申し上げます。

株主の皆さまにおかれましては、平素より当社事業への格別のご支援及びご厚情を賜り、心より御礼申し上げます。

平成23年6月22日をもちまして、代表取締役社長に就任いたしました。

ヤクルトの創始者である代田稔の思想・哲学「代田イズム」を事業の原点に据え、堀会長とともに、ヤクルトグループの将来図・ロードマップを完成、そして実現させてまいりますので、株主の皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げます。

ここに、平成22年4月1日から平成23年3月31日までの経営成績につきまして、連結の業績を中心にご報告申し上げます。

平成23年6月

当期について

当期におけるわが国経済は、輸出・生産の増加や経済対策の効果などにより、企業収益は回復に向かい、個人消費にも持ち直しの動きが見られたものの、為替・株価の変動やデフレの影響、欧米地域の景気下振れリスクなどに加え、東日本大震災の影響もあり、先行きへの不安感が拭えない状況で推移しました。

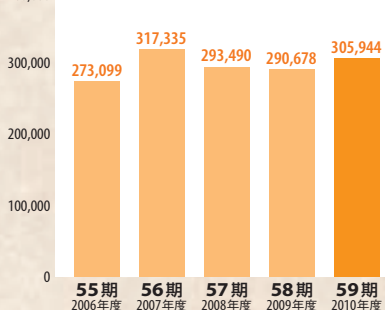
このような状況の中で、当社グループは、事業の根幹であるプロバイオティクスの啓発・普及活動を展開し、商品の優位性を訴求してまいりました。また、販売組織の拡充、新商品の研究開発や生産設備の更新に加え、海外事業や医薬品事業にも積極的に取り組み、業績の向上に努めました。

この結果、当期の売上高は305,944百万円（前期比5.3%増）となりました。利益面においては、営業利益は20,401百万円（前期比7.4%増）、経常利益は25,788百万円（前期比4.3%増）、当期純利益は13,168百万円（前期比0.6%減）となりました。

連結業績ハイライト

●売上高

(百万円)



次期について

乳製品については、引き続き宅配および店頭の両チャネルで、当社独自の「乳酸菌 シロタ株」およびピフィズス菌「B. プレーベ・ヤクルト株」の「価値普及」活動の強化と再徹底を図ります。

海外においては、販売地域の拡大および既存地域での売り上げ増大により、成長の強化を図るとともに、近年販売を開始したベトナム、インド、中国および米国などについては、営業基盤を確立し、経営の安定化と事業の成長を推進していきます。

医薬品に関しては、がん化学療法剤「エルプラット」の適正使用や市場拡大を重点課題とした活動を展開し、

ん領域に特化した販売活動に注力していきます。

化粧品については、引き続き、基礎化粧品を中心としたカウンセリング型訪問販売に注力した組織づくりおよびお客さまづくりを推進し、販売活動の活性化を図ります。

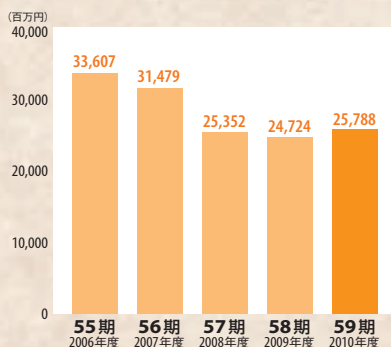
配当について

当社は、株主の皆さまに、より高いレベルで安定的な配当を実施していくことを最優先とするため、配当金額のベースを年額20円とし、そのうえで、将来の事業拡大や収益向上を図るための資金需要および財政状況ならびに当期の業績等を総合的に勘案して配当金額を決定しています。

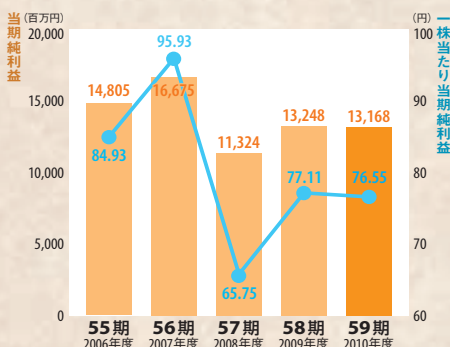
平成23年3月期の配当金については、上記の方針に基づいて普通配当10円とし、さらに当期が当社グループ創業75周年にあたる年であったことから、株主の皆さまの日頃のご支援に対する感謝の意を表して記念配当2円を加算した12円としました。すでに実施している中間配当金10円と合わせると、当期の1株当たりの配当金額は年額22円となります。

	当期	次期の見通し
売上高	305,944 百万円 (前期比 5.3% 増)	315,000 百万円
経常利益	25,788 百万円 (前期比 4.3% 増)	27,500 百万円
当期純利益	13,168 百万円 (前期比 0.6% 減)	14,000 百万円

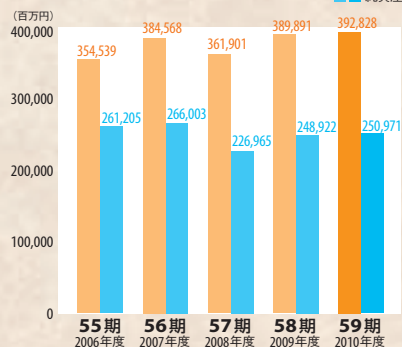
● 経常利益



● 当期純利益／一株当たり当期純利益

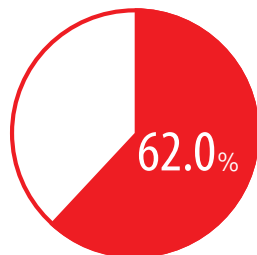


● 総資産／純資産



Financial Result by Segments

飲料および食品製造販売事業部門(日本)



売上高構成比

当期

売上高

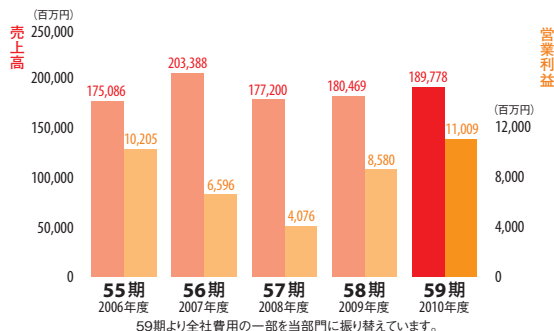
189,778 百万円

(前期比: 5.2% ↑)

営業利益

11,009 百万円

(前期比: 28.3% ↑)



乳製品については、宅配および店頭の両チャンネルで当社独自の「乳酸菌 シロタ株」およびビフィズス菌「B. プレーベ・ヤクルト株」の徹底した「価値普及」活動に取り組みました。

宅配チャンネルにおいては、主力商品である乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト400」「ヤクルト400LT」に加え、飲むビフィズスヨーグルト「ミルミル」およびシリーズ品として昨年10月に発売した「ミルミルS」を中心に、飲用体感促進型普及活動による継続愛飲者づくりに取り組みました。

店頭チャンネルにおいては、「ミルミル」および昨年5月にパッケージデザインをリニューアルした乳製品乳酸

菌飲料「ヤクルト」「ヤクルトカロリーーフ」を中心に、プロモーションスタッフを活用したお客さまへの「価値普及」活動を展開しました。

一方、ジュース・清涼飲料については、昨年6月に健康機能性飲料の主力商品である「黒酢ドリンク」をリニューアル発売しました。また、「蕃爽麗茶」は、昨年9月にパッケージデザインリニューアルを行うとともに、10月に独特の渋みや苦みを抑え、香ばしく、すっきりとした風味に仕上げたシリーズ品「蕃爽麗茶 香ばし風味」を発売し、愛飲者の飲用継続と新たな顧客層の獲得に努めました。

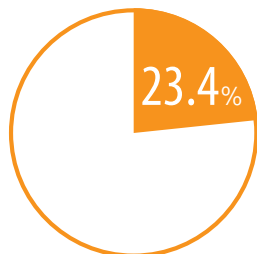
2011
NEWS
&
TOPICS

ロングセラー商品「ソフル」のパッケージデザインをリニューアル

「ソフル」は、1975年の発売以来、「乳酸菌 シロタ株」を関与成分とした特定保健用食品としての機能性に加え、ヨーグルトの酸味を抑えたまろやかな風味や、なめらかな食感などによる“おいしさ”で、多くのお客様から好評を得ているハードタイプヨーグルトです。3月21日よりパッケージを「乳酸菌 シロタ株」による機能性と、“おいしさ”をより強調したデザインにリニューアルし、さらなる売り上げ拡大を目指しています。



飲料および食品製造販売事業部門(海外)

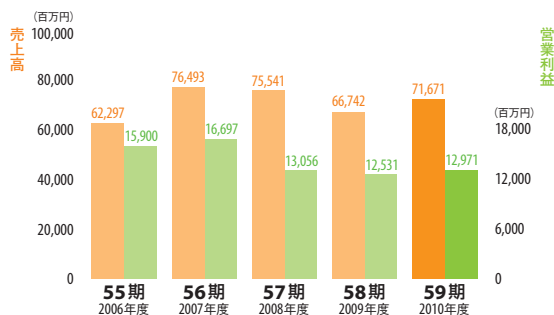


売上高構成比

当期

売上高
71,671 百万円
(前期比: 7.4% ▲)

営業利益
12,971 百万円
(前期比: 3.5% ▲)

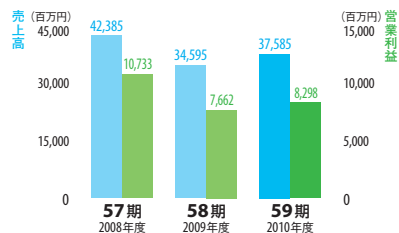


米州地域

売上高 37,585百万円 (前期比: 8.6% ▲)

米州地域においては、ブラジルおよびメキシコで乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」などを製造、販売し、アルゼンチンおよび米国などでは「ヤクルト」などを輸入販売しています。

米国においては、カリフォルニア州ファンテンバレー市に、米国で初となる「ヤクルト」を生産する工場を建設するための用地を確保し、2012年の現地生産開始を目指しています。



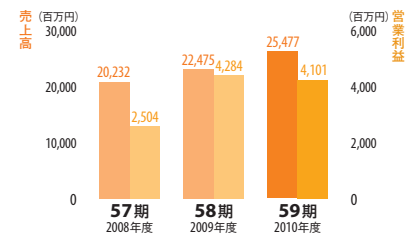
アジア・オセアニア地域

売上高 25,477百万円 (前期比: 13.4% ▲)

アジア・オセアニア地域においては、香港、シンガポール、インドネシア、オーストラリア、マレーシア、ベトナム、インドおよび中国などで乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」などを製造、販売しています。

インドにおいては、昨年8月にバンガロール市の店頭チャンネルで「ヤクルト」の販売を開始しました。

中国においては、広州、上海および北京を中心に、その他の沿海部の主要都市へ販売地域を拡大するとともに、本年1月には安徽省の省都である合肥市の店頭チャンネルで「ヤクルト」の販売を開始しました。

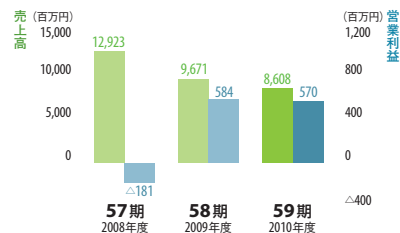


ヨーロッパ地域

売上高 8,608百万円 (前期比: 11.0% ▼)

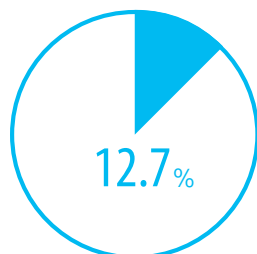
ヨーロッパ地域においては、乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」などをオランダで製造し、同国を含め、ベルギー、イギリス、ドイツ、オーストリアおよびイタリアなどで販売しています。

ヨーロッパのプロバイオティクス市場は依然として厳しい現地経済の影響を受け、また、競合他社との激しい競争も続いています。



Financial Result by Segments

医薬品製造販売事業部門

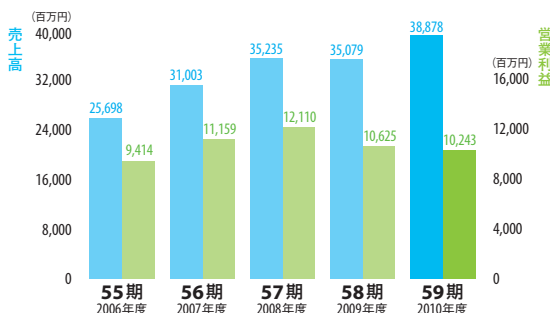


売上高構成比

当期

売上高
38,878 百万円
(前期比: 10.8% ▲)

営業利益
10,243 百万円
(前期比: 3.6% ▼)



医薬品については、国内において、がん化学療法剤「エルプラット」の適正使用をさらに推進するため、医療関係者を対象とした講演会や説明会などを積極的に開催しました。また、がん化学療法剤「カンプト」および活性型葉酸製剤「レボホリナートヤクルト」のシェア拡大に加え、遺伝子組み換えG-CSF製剤「ノイアップ」の販路拡大を図るなど、がん領域に特化した販売活動に力を注ぎ、売り上げ

の増大を図りました。

海外においては、後発品が発売されている「カンプト」について、市場シェアの維持回復に努めたものの、シェア縮小分を補うまでには至りませんでした。

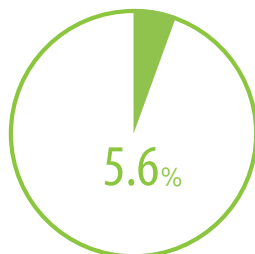
2011
NEWS
&
TOPICS

「タフマン」ブランドをリニューアル

「タフマン」は、薬用植物の中でも強壮・強心効果が知られている高麗人参を主体に各種機能成分や栄養成分を配合し、中高年男性を中心に好評を博しているロングセラーの栄養ドリンクです。発売30周年を記念して、5月16日より「タフマン」ブランドの内容成分やパッケージデザインをリニューアルして全国で発売を開始しました。CMキャラクターには8年ぶりに俳優の伊東四朗さんを起用し、積極的な広告宣伝を展開しています。



その他事業部門

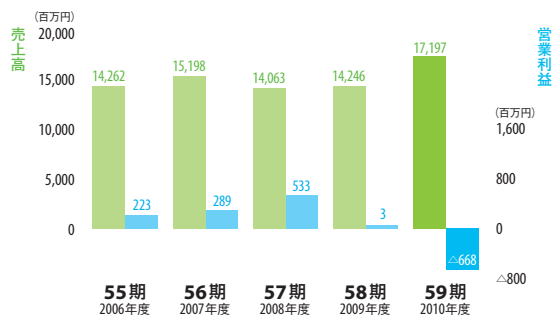


売上高構成比

当期

売上高
17,197 百万円
(前期比: 20.7% ▲)

営業利益
△ 668 百万円
(前期比: —)



その他事業部門には、化粧品の製造販売およびプロ野球興行などがあります。

化粧品については、基礎化粧品の主力ブランドである「パラビオ」「リベシィ」および「リベシィホワイト」の各シリーズを中心としたカウンセリング型訪問販売活動を展開しました。さらに、昨年12月には創業75周年を記念して、当社の化粧品研究および開発技術の集大成となる高機能クリー

ム「ヤクルト ビューティエンス プリリアント ～ザ クリーム～」を数量限定で発売しました。

一方、プロ野球興行については、神宮球場において各種イベントを実施するとともに、積極的なファンサービスや情報発信などを行いました。入場者数が前年並にとどまったことや、年間予約席収入の減少などの影響により、厳しい営業展開となりました。

リベシィシリーズをモデルチェンジ 「透白・リベシィホワイトシリーズ」を新発売

美 白ケアへの要望が変化する近年、単にシミを防ぐだけではなく、明るく透明感のある上質なお肌を望む方が増えています。そこで、お客さまの期待に応えるため、スキンケアブランド「リベシィホワイト」を「透白・リベシィホワイト」にモデルチェンジし、4月11日に「ローション」と「UVカットミルク」の2品を全国で先行発売しました。6月20日からは、洗顔2品、スペシャルケア2品、トライアルキットを発売します。



Consolidated Financial Statements

連結貸借対照表

単位：百万円

科目	第58期	第59期
	平成22年3月31日現在	平成23年3月31日現在
資産の部		
流動資産	181,716	182,830
固定資産	208,175	209,998
有形固定資産	130,391	133,717
無形固定資産	4,941	5,911
投資その他の資産	72,841	70,369
資産合計	389,891	392,828
負債の部		
流動負債	62,913	63,175
固定負債	78,055	78,681
負債合計	140,969	141,856
純資産の部		
株主資本	251,907	264,256
資本金	31,117	31,117
資本剰余金	41,229	41,192
利益剰余金	187,991	200,996
自己株式	△ 8,431	△ 9,050
その他の包括利益累計額	△ 28,040	△ 38,369
その他有価証券評価差額金	1,160	△ 934
為替換算調整勘定	△ 29,201	△ 37,434
少数株主持分	25,055	25,085
純資産合計	248,922	250,971
負債・純資産合計	389,891	392,828

連結損益計算書

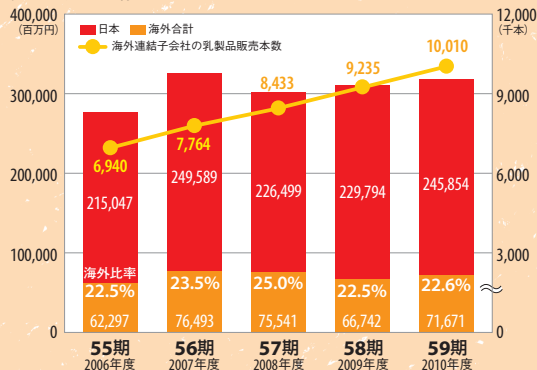
単位：百万円

科目	第58期	第59期
	平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで	平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで
売上高	290,678	305,944
売上原価	133,102	138,403
売上総利益	157,575	167,540
販売費及び一般管理費	138,584	147,138
営業利益	18,990	20,401
営業外収益	7,458	7,140
受取利息	1,786	1,934
受取配当金	571	618
為替差益	116	—
受取ロイヤリティー	314	—
持分法による投資利益	2,275	2,130
その他	2,394	2,456
営業外費用	1,724	1,753
支払利息	807	811
為替差損	—	333
その他	917	608
経常利益	24,724	25,788
特別利益	606	503
固定資産売却益	559	151
その他	47	351
特別損失	3,712	4,888
固定資産売却損	146	300
固定資産除却損	851	516
投資有価証券評価損	11	607
工場再編損失引当金繰入額	106	218
減損損失	2,247	426
災害による損失	—	1,657
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	614
その他	349	547
税金等調整前当期純利益	21,619	21,402
法人税、住民税及び事業税	5,700	8,204
法人税等調整額	△ 14	△ 2,937
少数株主損益調整前当期純利益	—	16,135
少数株主利益	2,684	2,966
当期純利益	13,248	13,168

平成23年3月期のポイント

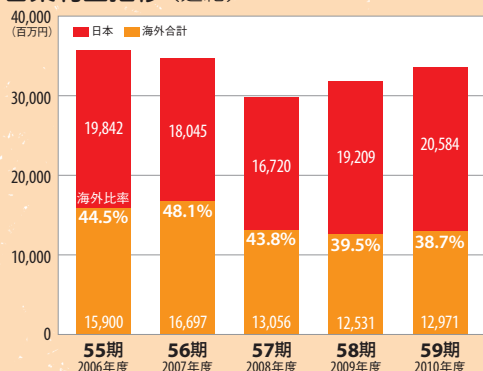
1. 6月に全世界で乳製品3,000万本/日達成
海外子会社は年間で乳製品1,000万本/日達成
2. 売上高・営業利益・経常利益は順調に拡大
3. 当期純利益は震災による特別損失計上
(16億円)のため減益

売上高推移 (連結)



(注) セグメント間売上高の消去前金額で表示しています。

営業利益推移 (連結)



(注) 全社費用等の調整前金額で表示しています。

連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

科目	第58期	第59期
	平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで	平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで
① 営業活動によるキャッシュ・フロー	39,535	40,987
② 投資活動によるキャッシュ・フロー	△19,970	△21,625
③ 財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,743	△12,413
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,675	△4,444
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	20,497	2,504
現金及び現金同等物の期首残高	62,665	83,190
連結範囲の変更に伴う 現金及び現金同等物の増加額	—	856
非連結子会社との合併に伴う 現金及び現金同等物の増加額	27	—
現金及び現金同等物の期末残高	83,190	86,550

キャッシュ・フローのポイント

- ① 営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益21,402百万円、減価償却費19,628百万円に加え、たな卸資産の減少等があったことにより40,987百万円(前期比1,452百万円の収入増)となりました。
- ② 投資活動によるキャッシュ・フローは、主に生産設備の新設および増設による固定資産の取得があったことにより△21,625百万円(前期比1,655百万円の支出増)となりました。
- ③ 財務活動によるキャッシュ・フローは、リース債務の返済および配当金の支払等により△12,413百万円(前期比9,670百万円の支出増)となりました。

▶ より詳細な財務情報は、当社ホームページの「IR情報」で各種資料がご覧いただけます。

<http://ir.yakult.co.jp/>

ヤクルト IR情報

検索

「安全・安心」で健康な生活をサポートする

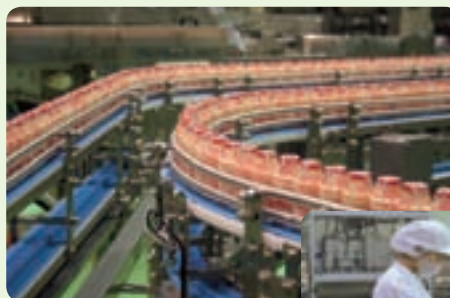
生産編

日本国内7か所の本社工場と6か所の瓶詰会社をはじめ、世界中で生産されているヤクルト。ここでは、安全・安心で高品質な製品をお届けするための工場での取り組みについて紹介します。

トレーサビリティを確保し、安全な原料を厳選

製品に使用する安全な原料を選ぶため、原料メーカーの取引実績や技術力、品質管理の状況を十分に調査し、安全性を確認しています。原料の原産国や製造工場、製造工程の調査も行い、現場の衛生状態や検査体制、品質管理体制を確認し、必要に応じ改善をお願いしています。

また、すべての原料について、生産管理システムの中で、製品の生産・流通履歴を明確にするトレーサビリティを確保しています。



ご存知でしたか？ ヤクルト容器が環境に貢献していること

ヤクルト容器は、工場における排水処理の高度浄化や川や池の浄化にも役立っています。



▲佐賀工場の排水処理施設



▲東京都足立区堀川の浄化施設

生活排水や工場排水の高度浄化に、ヤクルト容器に住みつくと微生物の力を利用しています。排水処理施設に「底を抜いたヤクルトの空容器」を沈めると、容器の内側や外側に微生物が住みついて増殖し、汚れの原因となる有機物を分解してくれるので水がキレイに浄化されるのです。この浄化システムを応用して、汚れた河川や湖沼の水浄化事業が各地で進められ成果を上げています。当社では、国や自治体等が実施する川や池の水浄化事業にヤクルト容器を供給しています。

ヤクルトの取り組み

高品質な製品をお届けするため 最新技術を用いた設備を導入

確かな安全性を持つ製品を毎日確実に生産するために、原料の仕込みから培養、調合、容器の成形、充填、出荷まで一貫した生産システムで製品づくりを行っています。また、近年の食品の「安全・安心」に対するお客さまの強い関心にお応えし、より高品質な製品を安定的にお届けするために、最新技術を用いた生産機器と製品検査機器の導入を進めています。



工場見学へぜひ、お越しください!

ヤクルトの各工場では、多くの皆さまに製品づくりの現場に触れていただく工場見学を行っています。年々工場見学者数が増加し、2010年には23万人を突破しました。小さなお子様からご年配の方まで、皆様のご来場をお待ちしています。



◀富士裾野工場

全国のヤクルトグループの工場は、無料で見学できます。ぜひ、実際に工場見学を体験してみてください。

下記サイトより、
お近くのヤクルト工場をお探しください。

<http://www.yakult.co.jp/knowledge/factory/>

東日本大震災への支援活動

被災された方々に ミネラルウォーターおよび清涼飲料水 30万本を提供

3月11日に発生した東日本大震災において被災された方々に対し、当社では、タンクローリー車に飲料水を積載し、3月12日より被災地に派遣しました。また、ミネラルウォーター「ボルヴィック」(500ml) 10万本、「ヤクルト お茶」(500ml) 10万本、スポーツ飲料「ヤクルト ソーピード」(500ml) 10万本、合計30万本の提供の申し入れを行いました。



Globalizing the Yakult Network

現在、海外27の事業所を中心に、日本を含む32の国と地域で
主として乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」の製造、販売を行っており
昨年は、世界中で毎日2,750万人の方々にご愛飲いただいています。

【海外事業所一覧 & 各地域のヤクルトの売上本数】



海外：2010年1月～6月の1日当たり平均本数
日本：2010年4月～9月の1日当たり平均本数

EUROPE

- ▶ 国と地域：10
▶ 1日当たりの販売本数：71万本

ヨーロッパ地域

- ヨーロッパヤクルト株式会社
- オランダヤクルト販売株式会社
- ベルギーヤクルト販売株式会社
- ドイツヤクルト販売株式会社
- イギリスヤクルト販売株式会社
- オーストリアヤクルト販売株式会社
- イタリアヤクルト販売株式会社
- ヤクルト本社ヨーロッパ研究所*

THE AMERICAS

- ▶ 国と地域：7
▶ 1日当たりの販売本数：488万本

米州地域

- ブラジルヤクルト商工株式会社
- メキシコヤクルト株式会社
- アメリカヤクルト株式会社
- アルゼンチンヤクルト販売株式会社

JAPAN

- 日本 ▶ 1日当たりの販売本数：877万本



ASIA AND OCEANIA

アジア・オセアニア地域

- ▶ 国と地域：14
▶ 1日当たりの販売本数：1,314万本



- 香港ヤクルト株式会社
- 広州ヤクルト株式会社
- 上海ヤクルト株式会社
- 中国ヤクルト株式会社
- 北京ヤクルト販売株式会社
- 上海ヤクルト販売株式会社
- インドネシアヤクルト株式会社
- シンガポールヤクルト株式会社
- マレーシアヤクルト株式会社
- インドヤクルト・ダノン株式会社
- ベトナムヤクルト株式会社
- オーストラリアヤクルト株式会社
- 韓国ヤクルト株式会社*
- 台湾ヤクルト株式会社*
- タイヤクルト株式会社*
- フィリピンヤクルト株式会社*

*台湾ヤクルト株式会社、タイヤクルト株式会社、韓国ヤクルト株式会社、フィリピンヤクルト株式会社、ヤクルト本社ヨーロッパ研究所以外は連結子会社です。

株式会社ヤクルト本社

ヤクルト本社

★本店：1 ■支店：5

◆研究所：1 ▲工場：9

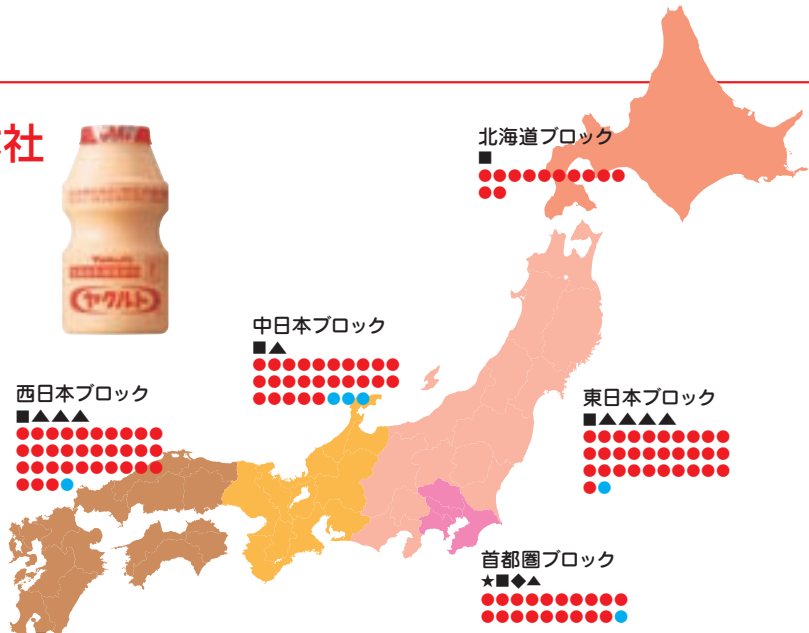
●販売会社 120社

(うち連結子会社 26社)

●瓶詰会社 6社(連結子会社)

ヤクルトレディ 約 43,000人

ヤクルトビューティ 約 7,000人



【日本国内の連結子会社】

- 株式会社ヤクルトアセットマネジメント
- 株式会社岩手ヤクルト工場
- 株式会社千葉ヤクルト工場
- 株式会社愛知ヤクルト工場
- 株式会社大阪ヤクルト工場
- 株式会社神戸ヤクルト工場
- 株式会社福岡ヤクルト工場
- ヤクルト商事株式会社
- 株式会社ヤクルトマテリアル
- 株式会社ヤクルト球団
- ヤクルト食品工業株式会社
- 株式会社麺物語本舗
- ヤクルト薬品工業株式会社
- 株式会社ワイ・ピー・シー
- ヤクルトヘルスフーズ株式会社
- ヤクルトサポートビジネス株式会社
- 株式会社ヤクルトライフサービス
- 株式会社ホテルサン沖縄
- 株式会社ヤクルト・マネジメント・サービス
- 有限会社広島保険サービスセンター
- 株式会社はこだてわいん
- 駒ヶ岳酒造販売株式会社
- 東日本ヤクルト物流株式会社
- 中央ヤクルト物流株式会社
- 西日本ヤクルト物流株式会社
- 南北海道ヤクルト販売株式会社
- 株式会社ヤクルト北北海道
- 紋別ヤクルト販売株式会社
- 宮城中央ヤクルト販売株式会社
- 埼玉西ヤクルト販売株式会社
- 千葉県ヤクルト販売株式会社
- 東京ヤクルト販売株式会社
- 神奈川東ヤクルト販売株式会社
- 北信ヤクルト販売株式会社
- 新潟ヤクルト販売株式会社
- 株式会社ヤクルト東海
- 岐阜ヤクルト販売株式会社
- 高山ヤクルト販売株式会社
- 名古屋ヤクルト販売株式会社
- 愛知中央ヤクルト販売株式会社
- 三重ヤクルト販売株式会社
- 近畿中央ヤクルト販売株式会社
- 和歌山ヤクルト販売株式会社
- 株式会社ヤクルト北陸
- 福井ヤクルト販売株式会社
- 山陰中央ヤクルト販売株式会社
- 株式会社ヤクルト山陽
- 新広島ヤクルト販売株式会社
- 山口ヤクルト販売株式会社
- 中央福岡ヤクルト販売株式会社
- 沖縄ヤクルト株式会社

Product Lineup

ヤクルト類（乳酸菌飲料）



▲ヤクルト ▲ヤクルト カロリー-half ▲ヤクルト 400 ▲ヤクルト 400LT ▲ヤクルト 300V ▲ヤクルト SHEs (チーズ)

その他の乳製品



◀ミルミル

生きて腸内にとどくビフィズス菌を、1本に100億個以上含んだ、飲むヨーグルトです。飲みやすいミルク風味に仕上げています。



◀BF-1

ストレス社会で生きる、現代人のために開発した、ビフィズス菌 (B.ピフィダム BF-1株) を使用した、乳製品乳酸菌飲料です。

▼ジョア (プレーン、ストロベリー、ブルーベリー、白ぶどう)
腸内で有用な働きをする乳酸菌シロタ株が入った、のむヨーグルトです。



◀ミルミルS

生きて腸内にとどくビフィズス菌を1本に100億個以上含んだ、飲むヨーグルトです。ガラクトオリゴ糖、食物繊維、鉄、葉酸、コラーゲンなどが摂取できます。すっきりとしたヨーグルト風味です。



◀ブレイティオ

血圧降下作用を有するGABA (γ-アミノ酪酸) を1本に10mg以上含む、血圧が高めの方におすすめの乳製品乳酸菌飲料です。

▶ピュアラ (アロエ、ピーチ)



▼ソフール (プレーン、ストロベリー、LT)



ジュース・清涼飲料

健康機能性食品



◀ 蕃爽麗茶

グアバ葉ポリフェノールの働きで、糖の吸収をおだやかにするので、食後の血糖値が気になる方に適した健康茶飲料です。

▼ フコイダン茶



▼ ルチンそば茶



▼ アヤムラサキ



▲ タフマンシリーズ



◀ 黒酢ドリンク

純米熟成黒酢を100%使用し、うめ果汁、はちみつを加え、飲みやすく仕上げました。

紫の
おいしいお酢▶



▼ ギゅっと健康シリーズ



▼ グロビン ONE



◀ ミルージュ Ca プラス



ミルージュ▶
ソーダ

▼ ラックミーシリーズ



◀ 調製豆乳 国産大豆使用

▼ レモリア

テアニン（緑茶の旨味成分）を含み、レモン果汁と7種のハーブエキスが程良く調和したリラックス飲料です。



▶ ソーピードシリーズ

運動時に脂肪燃焼に適した環境をつくって維持する「低GI」の働きを活かしながら、低カロリーで後味すっきりなスポーツドリンクです。



Product Lineup

ジュース・清涼飲料

ソフト飲料



◀お茶



▲珈琲たいむシリーズ
(ミディアム、カフェラテ、ブラック)



▲マイルド
カフェ・オ・レ



▲ココア

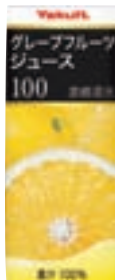


▲コーン
ポタージュ

▼きになる野菜シリーズ



▲ホットゆず&
日向夏



トマトジュース▶

◀(左から)
みかん・オレンジ
ミックスジュース
アップルジュース
パイナップルジュース
グレープフルーツジュース



▲さっぱりりんご
さっぱりグレープフルーツ

健康食品



◀ 毎日の青汁

はじめての青汁 ▶



▲ ハイクロレラ

▼ ロイヤルゼリー



▲ マイタイム



▲ ウコン粒

▼ アミノパーフェクト トータルサポート



▼ サプリズムシリーズ

(コラーゲン、PS、フコイタン、マルチビタミン、カルシウム、鉄、グルコサミン)



▲ BBcube プラス



▲ まろやかケール

葉っぱのミルク ▶



▲ ケールのめぐり

めん類

▼ 麺許皆伝シリーズ

(しょうゆ味、みそ味、しお味、ソース焼そば)



▼ 神崎めんシリーズ

(そうめん、ひやむぎ、中めん、うどん、そば)



▼ 手延そうめん



Product Lineup

医薬品（医療用医薬品）

医療用医薬品



その他医薬品

ヤクルトBL 整腸薬シリーズ



化粧品

スキンケア



▲パラビオ



▲リベシィ



▲透白・リベシィホワイト

◀ラクトデュS.E.ローション



ゴールド▶
S.E.ローション



▲ヤクルト ビューティエンス
ブリリアント～ザクリーム～



▲パラビオ ACクリーム
グラン



▲パラビオ ACクリーム
エクストラ

メイクアップ



◀パラビオ

グラントィア▼



▼グラントィアEX

ボディケア

POSHMAMA
シリーズ

(左)薬用ハンドクリーム▶
(右)さらさらサンスクリーン



ヤクルトのトレードマーク プラスチック容器の立体商標登録

日本国内では、毎日300万本以上のヤクルトがお客さまに愛飲されています。
ヤクルトのトレードマークといえるプラスチックのロゴなし容器について、このたび、
立体商標の登録が認められました。



ヤクルトプラスチック容器

30年以上続いたガラス瓶容器からプラスチック容器へリニューアル

ヤクルトプラスチック容器は、それまで使用されてきたガラス瓶容器の代替として、1968年に開発導入されました。容器デザインは、インテリア・デザイナーとして著名な剣持 勇氏が担当しました。新しい容器は、

子供からお年寄りまでみんなが持ちやすく、中身が一気に口に入らないので少しずつ味わいながら飲める、独特なくびれのある斬新なデザインでした。「親しみやすいもの」「食卓にもふさわしいもの」「落としても壊れないもの」など、さまざまなリクエストのもと開発されたプラスチック容器は、衛生面や割れにくく扱いやすい点で、お客さまからも高い評価をいただきました。また、従来のガラス瓶より軽く、回収の必要がないため、「ヤクルト」をお届けするヤクルトレディの労力軽減にもつながりました。

1935 → 1968

1935年から
使用された
ガラス瓶容器



プラスチック
新容器による
「ヤクルト」を発売



ヤクルト容器の立体商標が認められる

これまでヤクルトプラスチック容器は、ロゴなしの容器について、立体商標の登録が認められていませんでしたが、2010年11月16日、知的財産高等裁判所第一部は、ヤクルトプラスチック容器の立体商標出願に関する特許庁拒絶審決取消訴訟において、当社の主張

を認め、特許庁の審決を取り消す旨の判決を下しました。今回の判決では、「長年の使用により、容器の形状だけでも十分な識別力を獲得しており、登録されるべきである」との当社の主張が認められたものです。

海外で販売されている「ヤクルト」でも同じ形状の

容器が使用されており、すでに、米国、欧州各国等、多くの国と地域で立体商標登録が認められています。当社では、この度の判決を受け、今後ともヤクルトプラスチック容器の立体商標を当社のトレードマークとして、適正に使用してまいります。



乳酸菌「L.カゼイ・シロタ株」の継続飲用で スポーツ選手の風邪を予防

**「L.カゼイ・シロタ株」を含む乳酸菌飲料を継続飲用することで、
粘膜免疫を良好な状態に保ち、風邪の予防に役立つことが科学的に証明されました。**

イギリス ラフバラ大学において、同大学の自転車部、トライアスロン部、陸上部（中長距離走）、水泳部等に所属する運動選手など、免疫機能が低下して感染リスクが高まる傾向の強い持久系スポーツ選手（84名）を対象に、「L.カゼイ・シロタ株」を含む乳酸菌飲料（ヤクルト）の飲用試験を実施しました。

本飲用試験では、被験者を無作為に2群に分け、それぞれに「L.カゼイ・シロタ株」を含む乳酸菌飲料（1本あたり65億個の「L.カゼイ・シロタ株」を含有）またはプラセボ（※）飲料を1日2本、16週間飲用させ、風邪の発症率や免疫パラメーターに対する影響を調べました。その結果、継続的に激しい運動を行うスポーツ選手は、「L.カゼイ・シロタ株」を含む乳酸菌飲料を継続飲用することで、風邪の発症率が低減する効果が確認されました。この効果の要因のひとつとして、唾液や気道粘液に含まれ、ウイルスなどの感染を防ぐために重要な

役割を果たす抗体「IgA」の抗体量が、「L.カゼイ・シロタ株」を含む乳酸菌飲料の継続飲用により、良好な状態に保たれたことに起因するものと考えられます。

本飲用試験については、国際的な科学雑誌「International Journal of Sport Nutrition & Exercise Metabolism」の電子版に速報として掲載されました。

※プラセボとは、味や外見は同じで、有効成分を含まないものことです。本物とプラセボの2つのグループを比べることによって、効果の程度を科学的に測定できます。

1. 風邪の発症率について

試験期間中、風邪の症状が1週間以上続いた被験者の割合は、「ラクトバチルス カゼイ シロタ株」を含む乳酸菌飲料飲用群（66%）が、プラセボ飲用群（90%）よりも有意に低かった。

2. 免疫パラメーターに対する影響について

唾液中のIgA抗体濃度は継続的な激しい運動により低下するが、「ラクトバチルス カゼイ シロタ株」を含む乳酸菌飲料の飲用により、プラセボ飲用群よりも有意に高くIgA抗体濃度が維持された。



会社概要

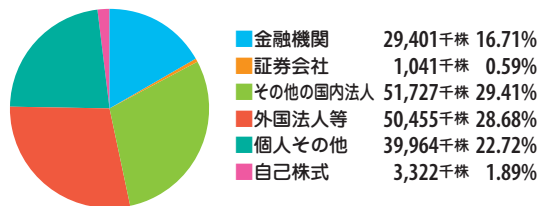
商号 株式会社ヤクルト本社
(YAKULT HONSHA CO.,LTD.)
設立 昭和30年4月9日
本店 東京都港区東新橋1丁目1番19号
電話 03(3574) 8960(大代表)
資本金 311億17百万円
従業員 2,903人

(注) 上記従業員数には、関係会社等への出向者311人および嘱託126人を含んでいます。

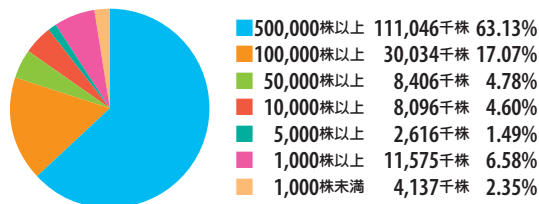
株式の状況

発行可能株式総数……………700,000,000株
発行済株式総数……………175,910,218株
株主数……………33,698名

所有者別分布状況



所有株式数別分布状況



役員 (平成23年6月22日現在)

代表取締役会長	堀 澄也	取締役	池上 昭二	常勤監査役	大坪 勝己
代表取締役社長	根岸 孝成	取締役	竹村 雅行	常勤監査役	田中 竹義
取締役	川端 美博	取締役	荒木 敏博	監査役	中村 輝夫
取締役	甲斐 千束	取締役	阿部 泰久	監査役	奥平 哲彦
取締役	根岸 正広	取締役	福岡 政行	監査役	角屋 良平
取締役	阪本 重善	取締役	クリスチャンノイ	監査役	池田 雅彦
取締役	安田 隆二	取締役	ペトラソドホースレイ	監査役	谷川 清十郎
取締役	リチャードホール				

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
エムエルピーエフエス ノミニー・ダノン アジア ホールディングス プライベートリミテッド*	35,212	20.02
松尚株式会社	11,530	6.55
株式会社フジ・メディア・ホールディングス	6,492	3.69
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口	4,957	2.82
共進会	4,111	2.34
ノーザントラスト カンパニー(エイブイエフシー) サブアカウント プリティッシュ クライアント	2,868	1.63
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口)	2,713	1.54
麒麟ビバレッジ株式会社	2,458	1.40
日本生命保険相互会社	2,420	1.38
株式会社みずほ銀行	2,186	1.24

(注) 共進会は、当社の取引先であるヤクルト販売会社を会員とする持株会です。
上表のほか、当社は自己株式3,322千株を保有しています。

ホームページのご紹介

当社のホームページでは、会社情報、IR情報、商品情報、環境対策などさまざまな最新情報を掲載しております。特に株主・投資家の皆さまに向けましては、トップメッセージ、決算短信、有価証券報告書のほかIRニュースなども掲載しております。ぜひご覧ください。



<http://www.yakult.co.jp/>

株主優待

当社商品の提供 ※保有期間に応じて優待内容が異なります。

毎年3月31日現在で100株以上所有の株主の皆さま(保有期間3年未満)

- 当社商品3品(「化粧品」「乾めん詰め合わせ」「ジュース詰め合わせ」のうちお好きな商品を1品進呈(※1,000株以上所有の株主の皆さまは商品内容が異なります)。

毎年3月31日現在で100株以上所有の株主の皆さま(保有期間3年以上)

- 当社商品3品(「化粧品」「乾めん詰め合わせ」「ジュース詰め合わせ」のうちお好きな商品を2品進呈(※1,000株以上所有の株主の皆さまは商品内容が異なります。また、平成20年3月31日以降、毎年3月31日および9月30日の株主名簿に、同一の株主番号で連続7回以上記載されている株主さまが対象となります)。

※発送は7月下旬の予定です。

東京ヤクルトスワローズが神宮球場で開催するプロ野球公式戦「株主優待証(外野自由席)」の提供

毎年9月30日現在で1,000株以上所有の株主の皆さま

- 対戦するセ・リーグ5チームにつき2試合ずつ計10試合プラス交流試合2試合で計12試合まで。1試合につき外野自由席の入場券2枚まで引き換え可。

毎年9月30日現在で100～999株所有の株主の皆さま

- 年間2試合まで。1試合につき外野自由席の入場券2枚まで引き換え可。

※発送は3月中旬の予定です。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで	
株主総会	定時株主総会	毎年6月中
	臨時株主総会	必要に応じ随時
基準日	定時株主総会の議決権	3月31日
	期末配当金	3月31日
	中間配当金	9月30日

公告掲載方法

電子公告 <http://www.yakult.co.jp/>
ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人	東京証券代行株式会社
事務取扱場所	〒100-0004 東京都千代田区大手町二丁目6番2号 (日本ビル4階)
(郵便物送付先) (連絡先)	〒168-8522 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 東京証券代行株式会社 事務センター
	☎0120-49-7009

株式に関するお手続きについて 株券電子化にともない、現在の各種手続きのお申し出先は次のとおりとなっております。

1. 未支払配当金のお支払い

株主名簿管理人である東京証券代行株式会社に
お申し出ください。

2. 住所変更、単元未満株式の買取請求、配当金受取方法の指定など

お取引の証券会社等にお申し出ください。なお、特別口座に記録された株式の手続き(証券会社に開設した口座への振替など)に関しましては、すべて当社の特別口座管理機関である東京証券代行株式会社にお問い合わせください。



Yakult

株式会社ヤクルト本社

証券コード 2267

東京都港区東新橋1丁目1番19号

TEL:03-3574-8960(大代表) <http://www.yakult.co.jp/>